

『東北地方太平洋沖地震』(福島県いわき市)ボランティアへ

2011.3.27 ~ 2011.4.2

2011.3.27 16:00 出発 出発時のメーター 126,000 km



もうこれ以上積めないほどの物資を皆さんから託されイザ出発です。

2011.3.27 18:00 発 オーション東九フェリー(門司から東京まで約 36 時間)

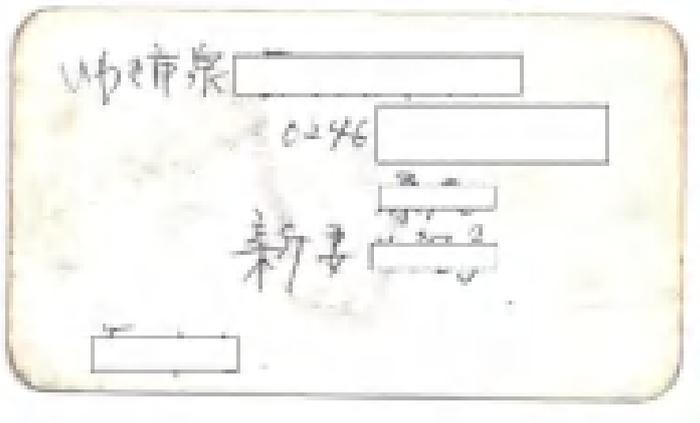


長崎・佐賀・熊本の警察さんが 50~60 人程同乗でした。原発の 20~30 km 圏内の調査等に行くとのこと。仕事とはいえ大変なようです。

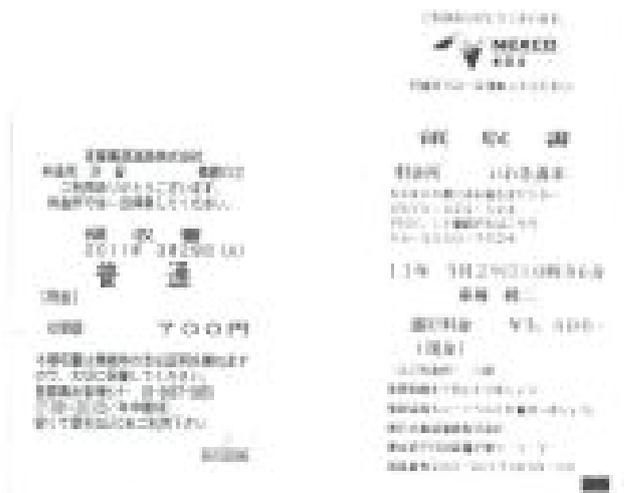


2011.3.28 朝、会話をした。看護師さんで家族全員、山口県の親戚の家に避難していたが、水道等が復旧したので戻っているとのこと「いわき市には物資が来ない」と聞き福島県いわき市に行くことを決める。出発当初は、茨城県日立市までの予定でしたが・・・

2011.3.29



2011.3.29 05:30 東京着



2011.3.29 10:36 いわき湯本 IC 着

高速道路料金・ルート検索 | 高速日和

検索条件 汐留しおどめいわき湯本いわきゆもと

出発時刻：2011年3月29日 6時00分 車種：軽・自動二輪

通常料金**4,100円** 総距離**199.4km** 所要時間**2時間17分** CO2排出量**23.4kg**

6:00出発 汐留・外回り方面への入口、内回り方面からの出口のみ。

首都高速都心環状線3.1km**6:04**通過一ノ橋JCT

首都高速都心環状線7.8km**6:11**通過江戸橋JCT

首都高速6号向島線10km**6:21**通過堀切JCT

首都高速中央環状線1.2km**6:23**通過小菅JCT

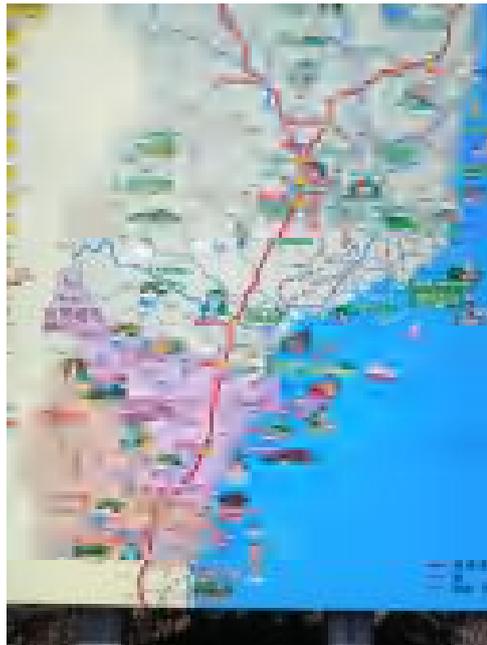
首都高速6号三郷線10.4km 通常**700**円

6:33通過三郷

常磐自動車道166.9km

通常**3,400**円 通勤**8:17**到着 いわき湯本

接続道：県道いわき石川線



常磐自動車道・いわき湯本 IC いわき石川バイパス/県道 14 号線 小名浜まで 13.5 km

道に迷い いわき市役所 水道局小名浜工事事務所の方から小名浜支所まで案内してもらう。

〒971-8162 福島県いわき市小名浜花畑町15-1 (いわき市役所 小名浜支所)

3月17日(月)掲載

***一級避難所リスト

災害対策本部 TEL: 0240-22-0111
 FAX: 0240-24-1244
 市民生活課 TEL: 0240-24-2111
 Fax: 0240-22-1222

番号	名称	住所	TEL	FAX
1	小名浜一車	01 小名浜町小名浜1-1-1	024-22011	024-22011
2	小名浜二車	01 小名浜町小名浜1-2-1	024-22011	024-22011
3	五反田	104 五反田町5-1-1	024-22011	024-22011
4	五反田	104 五反田町2	024-22011	024-22011
5	津田町(避難所)	01 津田町1-1-1	024-22011	024-22011
6	津田町	01 津田町1-1-1	024-22011	024-22011
7	津田町(避難所)	01 津田町1-1-1	024-22011	024-22011
8	津田町	01 津田町1-1-1	024-22011	024-22011
9	津田町(避難所)	01 津田町1-1-1	024-22011	024-22011
10	津田町	01 津田町1-1-1	024-22011	024-22011
11	津田町	01 津田町1-1-1	024-22011	024-22011
	合計	7カ所		

直接避難所へもって行きたいと告げると行政は避難所リストをくれました。周りに居た地元のボランティアの人たちが「こんな紙1枚くれても分からないでしょ」と言ってくれ案内をしてくれる方を探していただきました。「迷惑かけたくないの」とお断りもしましたが、結局、いわき市役所 小名浜支所 市民課 荒川 平さんから避難所の案内をして頂きました。







荒川 平さんから11箇所の避難所に案内していただき物資を3分の2ほどお渡しできました。
皆さん善い人が多く譲り合いながら必要最低限だけを受け取られていました。

豊間海水浴場近辺の様子





この辺の住宅街も津波の被害、(公民館)避難所の責任者さん ここは物資は足りているので高久小学校の方に・・・
道を教えていただき高久小学校へ出発。途中、道を尋ねた時、『いわきに行くな』と風評被害で最初は物資が殆ど来なかったそうで、最近になってようやく来るようになったとのことでした。



高久小学校で、自らも津波に没われ、九死に一生を得られた、いわきジャーナルの高橋さんと出会う。
この辺は、今現在物資が足りているそうで、いわき湯本の避難所がまだ不足していると案内をしていただきました。



いわきジャーナルの高橋さんから紹介していただいた、地元のボランティアの小井戸さんの名刺
旅館こいとの宗像総支配人(左)と、いわきジャーナルの高橋さん(右)



物資を託した後、寝る場所(旅館こいとの一室)を提供

していただき布団で寝させていただきました。感謝感謝です。本日3月29日の活動はここまで。



江名中に再度訪問、昨日野菜等がなく乾燥野菜などで食べていると聞き、豚汁の材料を提供しようと市場、スーパーなどを探す。スーパーが10時から開店するのを確認し小名浜方面に向かう。

MORATO 三州店	
TEL 0248-88-4152	
営業時間 10:00 - 18:00	
0001	豚汁 大盛
0002	豚汁 中盛
0003	豚汁 小盛
0004	豚汁 大盛 2人用
0005	豚汁 大盛 3人用
0006	豚汁 大盛 4人用
0007	豚汁 大盛 5人用
0008	豚汁 大盛 6人用
0009	豚汁 大盛 7人用
0010	豚汁 大盛 8人用
0011	豚汁 大盛 9人用
0012	豚汁 大盛 10人用
0013	豚汁 大盛 11人用
0014	豚汁 大盛 12人用
0015	豚汁 大盛 13人用
0016	豚汁 大盛 14人用
0017	豚汁 大盛 15人用
0018	豚汁 大盛 16人用
0019	豚汁 大盛 17人用
0020	豚汁 大盛 18人用
0021	豚汁 大盛 19人用
0022	豚汁 大盛 20人用
0023	豚汁 大盛 21人用
0024	豚汁 大盛 22人用
0025	豚汁 大盛 23人用
0026	豚汁 大盛 24人用
0027	豚汁 大盛 25人用
0028	豚汁 大盛 26人用
0029	豚汁 大盛 27人用
0030	豚汁 大盛 28人用
0031	豚汁 大盛 29人用
0032	豚汁 大盛 30人用
0033	豚汁 大盛 31人用
0034	豚汁 大盛 32人用
0035	豚汁 大盛 33人用
0036	豚汁 大盛 34人用
0037	豚汁 大盛 35人用
0038	豚汁 大盛 36人用
0039	豚汁 大盛 37人用
0040	豚汁 大盛 38人用
0041	豚汁 大盛 39人用
0042	豚汁 大盛 40人用
0043	豚汁 大盛 41人用
0044	豚汁 大盛 42人用
0045	豚汁 大盛 43人用
0046	豚汁 大盛 44人用
0047	豚汁 大盛 45人用
0048	豚汁 大盛 46人用
0049	豚汁 大盛 47人用
0050	豚汁 大盛 48人用
0051	豚汁 大盛 49人用
0052	豚汁 大盛 50人用
0053	豚汁 大盛 51人用
0054	豚汁 大盛 52人用
0055	豚汁 大盛 53人用
0056	豚汁 大盛 54人用
0057	豚汁 大盛 55人用
0058	豚汁 大盛 56人用
0059	豚汁 大盛 57人用
0060	豚汁 大盛 58人用
0061	豚汁 大盛 59人用
0062	豚汁 大盛 60人用
0063	豚汁 大盛 61人用
0064	豚汁 大盛 62人用
0065	豚汁 大盛 63人用
0066	豚汁 大盛 64人用
0067	豚汁 大盛 65人用
0068	豚汁 大盛 66人用
0069	豚汁 大盛 67人用
0070	豚汁 大盛 68人用
0071	豚汁 大盛 69人用
0072	豚汁 大盛 70人用
0073	豚汁 大盛 71人用
0074	豚汁 大盛 72人用
0075	豚汁 大盛 73人用
0076	豚汁 大盛 74人用
0077	豚汁 大盛 75人用
0078	豚汁 大盛 76人用
0079	豚汁 大盛 77人用
0080	豚汁 大盛 78人用
0081	豚汁 大盛 79人用
0082	豚汁 大盛 80人用
0083	豚汁 大盛 81人用
0084	豚汁 大盛 82人用
0085	豚汁 大盛 83人用
0086	豚汁 大盛 84人用
0087	豚汁 大盛 85人用
0088	豚汁 大盛 86人用
0089	豚汁 大盛 87人用
0090	豚汁 大盛 88人用
0091	豚汁 大盛 89人用
0092	豚汁 大盛 90人用
0093	豚汁 大盛 91人用
0094	豚汁 大盛 92人用
0095	豚汁 大盛 93人用
0096	豚汁 大盛 94人用
0097	豚汁 大盛 95人用
0098	豚汁 大盛 96人用
0099	豚汁 大盛 97人用
0100	豚汁 大盛 98人用
0101	豚汁 大盛 99人用
0102	豚汁 大盛 100人用

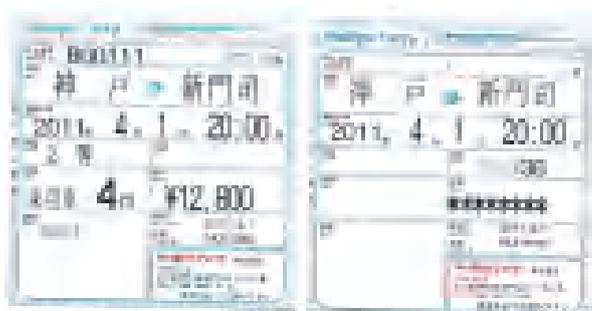


江名中は100人ほど避難されてると

聞いていたので豚汁の材料100人分ほど買い、江名中に行き大場校長先生にお渡ししました。校長先生は二度目の赴任だそうでおじいちゃん、おばあちゃんの孫、教え子の子どもが多くまた、熱血漢でみんなから慕われていらっしやいました。教頭先生は「生の肉だ」と感激され、校長先生は、涙を流して喜ばれ、私も感無量でした。

まだまだ、続きますが、今回も、阪神淡路大震災のときも行政までは、物資が届くのに末端の避難所等には、物資がない、「ずうっとパンばかりで、それも賞味期限ぎりぎりに、送られてくる。」と言われる避難所もありました。また、衣服も、ある避難所と、ない避難所と差がありました。避難所同士の横のつながりがなく(連絡手段がなく、また自分の避難所のこと、精一杯)、避難所と行政との縦のつながりもなく、情報の共有の点でも問題があるようです。

帰りは、途中神奈川、静岡に立寄り4月1日に東名、名神高速、神戸からフェリーで



4月2日の朝9:15頃帰宅しました。帰宅時のメーターは127,367 k m 走行距離1,367 k m



福岡県から、乗用車にいっぱいの物資を持って支援に駆けつけた、竹内利一さん。

阪神大震災の時にも、いち早く支援に駆けつけたという。

「困っている場所に迅速に届けるには、自分の手で現地まで持ち込むしかない」と、遠く離れた福岡からやってきた。

昨日は、避難場所を十数ヶ所まわり、今日は、炊き出し等をしてあげたいと。

物資は、お年寄りや身体の不自由な方に行き届くように、湯本でボランティア活動をしている、旅館こいとの宗像総支配人に託した。

今日も、いわき市内を、いわきの支援の為に走り回っている。

(写真:宗像総支配人(左)と竹内さん(右)。左側の物資を運んでくれた)

いわきジャーナルの高橋さんのブログに載せていただきました。